

東京の副知事に
なってみたら

猪瀬直樹

Inose Naoki

b
小学館
101
新書

6月6日発売 735円

吉村和就様 猪瀬直樹

目次

プロローグ

第1章 「水ビジネス」で世界へ

都庁に埋もれていた宝／市場は100兆円
『チーム水ジャパン』を結成

第2章 石原慎太郎と「言語技術」

日本語力を高める／「論理的」か否か
作家として頼まれた／新宿への通勤生活

第3章 「都心の緑を守る」

豪華宿舎がほんとうに必要か／「やめちゃいましょうよ」
白紙撤回の舞台裏／減税ではなく融資で

第4章 新しい都市生活モデルとは

共産党と都議会で対決／誤解された「格差社会」
周産期医療を整備／限界集落をつくらないために
ケア付き賃貸住宅という発想／経済効果は5000億円

第5章 ジャパン・パッシングの危機

夕張市へ職員を派遣／羽田空港国際化の必要性
東京港は世界23位／中国の新幹線に驚愕
地下鉄は二元化できる／3000億円の埋蔵金

第6章 エコで描く成長戦略

真紀子さんからの電話／タボス会議での討議
上野公園でボランテニア大会／五輪誘致の意義
国技館で鳩山首相と／霞が関には戦略がない
太陽光パネルをつけてみた／ドイツが失速した理由